

報 告

- ◎ [甕（もたい）農林水産技術会議会長が来所](#)
- ◎ [川村林野庁長官が来所](#)
- ◎ [『第2回海外安全講演会』を開催](#)

◎ **甕（もたい）農林水産技術会議会長が来所**

7月5日、甕農林水産技術会議会長ほか2名が農林研究団地視察の一環で当所を視察に訪れました。大熊理事長から所の概要を説明した後、温暖化対応推進拠点の松本温暖化対応推進室長から「京都議定書に対応した森林吸収量の実用的把握システム」に関する研究について説明を行いました。続いて木質耐震・快適性実験棟へ移動し、バイオマス化学研究領域の宮崎生理活性担当チーム長から、「森林セラピーのリラックス効果を生理的に明らかにする」に関する研究について説明を行いました。

約1時間と限られた視察時間ではありましたが、地球温暖化問題、森林の快適性増進効果に対して取り組んでいる当所の研究業務の一端をご理解いただけたのではないかと思います。



実験施設視察
(木質耐震・快適性実験棟 人工気候室)

◎ **川村林野庁長官が来所**

7月13日、川村林野庁長官が島内研究・保全課課長補佐を伴い、森林総合研究所を視察されました。研究所の概要説明の後、地球温暖化対策に向けた研究について、佐藤研究コーディネータから研究概要を、温暖化対応推進拠点の松本温暖化対応推進室長から「京都議定書に対応した森林吸収量の実用的把握システム」に関する研究について説明を行いました。

その後、木質耐震・快適性工学実験棟、林産化学製造実験棟、生物多様性解析棟を視察されました。



川村林野庁長官

◎ **『第2回海外安全講演会』を開催**

7月14日、講師として茨城県つくば保健所感染症担当大沢氏を迎え、「海外で鳥インフルエンザ、感染症に罹らないために！」と題し、『第2回海外安全講演会』を開催しました。主に、“鳥インフルエンザとは？”、“鳥インフルエンザに感染しないために”、及び“AIDS等の感染症について”の講話がありました。

現在、世界的な発生、ヒトへの感染、及びさらなる流行の拡大が危惧されている鳥インフルエンザ、その他の感染症について、対応策も含めた適切な説明があり、所員の海外出張時の健康・安全に対する知識と意識の向上をはかるために有用な情報が得られました。“知識は最良のワクチン”（講話より）です。